

JAPANESE CONTEMPORARY PHOTOGRAPHY

日本のコンテンポラリー ——写真をめぐる12の指標——



今道子 | イナダと帽子 1986

1990年9月6日(木)——10月14日(日) 東京都写真美術館

主催=東京都写真美術館 開館時間=午前10時——午後6時(入館は5時30分まで) 休館日=9月12日[水]、26日[水]、10月11日[木]

観覧料=一般・大学生500[400]円/小・中・高校生250[200]円、[]内は10名以上の団体料金

Tokyo Metropolitan Museum of Photography

JAPANESE CONTEMPORARY PHOTOGRAPHY

日本のコンテンポラリー ——写真をめぐる12の指標——

写真術の発明から今日まで、多岐にわたる写真表現の試みがなされてきました。考えうるほとんどのことがほぼ試されたとも言える今、「写真とは何か」という本質的で素朴な問いかけがあらためて浮かび上がってくるようです。

1980年代に入り、急速なテクノロジーの進歩、さまざまなメディアとの接近・融合、他の芸術分野のアーティストの参入なども相まって、写真の表現はますます多様化し、従来の写真の枠組みには収まりきれない写真も多く出現し、写真の座標軸は大きく揺れ動いています。

メディアの網の中で育ち、自己と世界の境界さえもあいまいに感じる世代の表現者にとって、世界もまた操作可能な要素の集合体であり、それぞれの作家はそれぞれの方法論で世界と対峙し、世界を組み立て直し、自己と世界との関係を取り結びます。

本展は、80年代に発表された作品の中から12作家に焦点を絞り、自己と世界との関係に基づく3つのパートに分けて構成します。[世界の転移]では写真という手段を用いて世界を印画紙上に移しかえようとする作家たちを、[世界の変形]では写真という装置を介在させて世界を変貌させようとする作家たちを、[世界の構築]では虚構の世界を構築して被写体とする作家たちを取り上げます。

■出品作家

1. 世界の転移	2. 世界の変形	3. 世界の構築
神蔵 美子	伊藤 義彦	石原 友明
小林 のりお	小山穂太郎	今 道子
柴田 敏雄	佐藤 時啓	服部 冬樹
畠山 直哉		森村 泰昌
三好 耕三		

■パネルディスカッション

*申込み制

【写真をめぐる現況】 出席者 飯沢耕太郎他

- 日時 9月29日(土)午後2時より
- 会場 東京都迎賓館

■ワークショップのお知らせ

*申込み制

【青い太陽と白い影——木・布・石でつくるブループリント】

和紙や布、板や石などを使って青い変わった写真をたくさん作ります。普段は写真にならない色々な物にプリントし、大きな作品づくりに挑戦しましょう。

古典技法の一つであるブループリント(cyanotype)は感光乳剤を塗って光をあて水で洗いがせれば完成する、カメラを使わない写真技法です。光の当たった部分は美しい青になり、当たらない影の部分は白い地のままに残ります。

- 講師 小本章(美術家)
- 日時 9月23日(日)、24日(月)(振替休日)
午前9時45分～午後4時
*1日だけの参加も可。
- 対象 小学生から大人まで(小学生は保護者同伴/東京都在住・在勤・在学者)
- 定員 両日とも40名ずつ/参加費 無料(昼食持参)
- 申込方法 往復はがきに住所・氏名・年齢・性別・Tシャツのサイズを明記して下記の住所にお送り下さい。申込多数の場合は抽選になります。(1日だけ参加の方は希望の日をお書き下さい。)

■申込締切 9月15日(土)必着

〒150 東京都渋谷区恵比寿4-19-24

東京都写真美術館 ワークショップ係 TEL 03-280-0031



神蔵美子 | TREE / INTERIOR DIPTYCHS 1989



佐藤時啓 | Breath-graph #63 1990



服部冬樹 | 標本[蟹] III 1987

